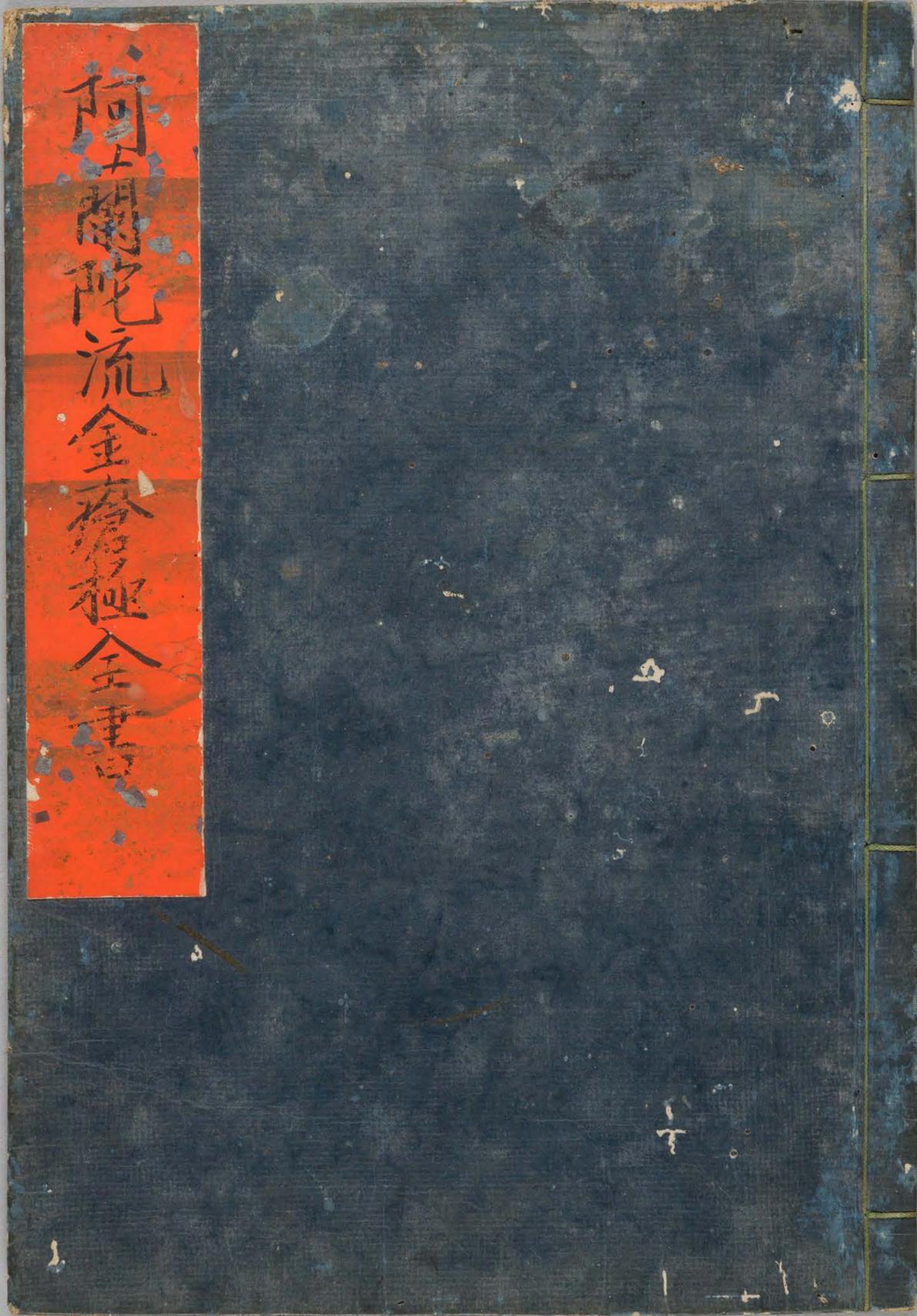
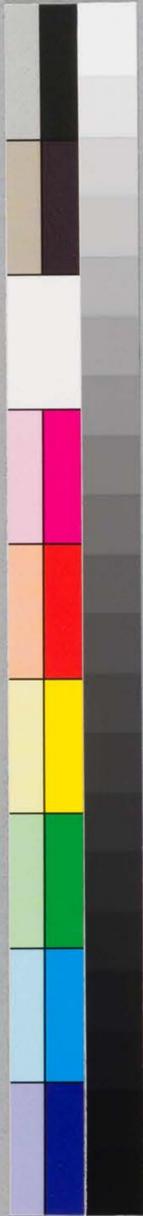


阿蘭陀流金瘡極全書

禁書出



阿闍陀流金齋極全書



金瘡極全書

凡手履ニ向イ可心得科数多雖有之理深ク
詞繁キ故ニ紙面ニ難述然凡庸医ヲ導ニカ為
ニアラニ仕掛無前後様ニ記ス物也

一 誼淺深ニ不依先風ヲ不引様ニ早ク疵之ロシ木
綿ニテ可卷次ニ疵ニ應ニテソクニ蓋卷木綿洗
茶王子酢針糸燒酒無添木等ヲマシラ一置キ療
治ニ取カリ少毛間ヌケナク一時ニハタタト仕舞ヘ

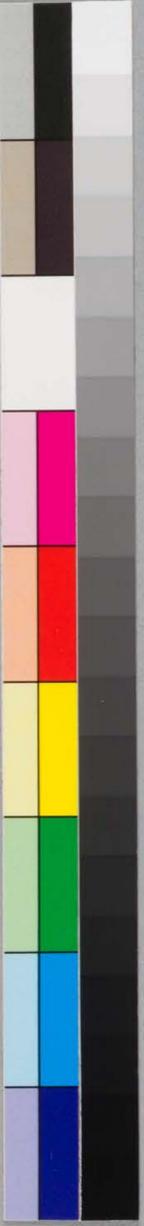
キ覺悟ヲ無テ心得可置ナリ

一 燒酒ヲ煎木綿ノ湯手ヲニツモ三ツモテシテヘシキ
燒酒ノ中ニ打入取カヘ々間カケス疵之血タニリ
無様ニ疵ロシ可洗又深手ナレハ必血ノタニリ有
物ナリ其時指ヲ以テ和カニサシ入血タニリヲ能
洗除テ次ニ疵ノ淺深ヲ能心得或ハオグリヲ
入深ヲ尋シクシ又冬之疵或ハ間有テ冷タル疵
ナラハ燒酒ニテ洗暫ク疵ヲ温ムヘシオアル時ハ

疵ニ滋イ出テヨキ物也

一 扱疵ロシ兩方ヨリ手或ハ添木ニテ押合加減能
様ニ取合大法五分程宛縫切糸ヲタモシリシテ女
結也口傳併疵ノ取々ニ依テ三分四分或ハ五分一寸
ニ可縫疵有或ハ肩ツカイナトシ切離タルニハカス
カイヲ掛ル事有口傳但疵ナラハ惡所ナレ故難
治一疵之内ニ刀目ノ先跡切込ノ淺深上下縫様
心得有淺所ハ遠ク深キ所ハ近ク可縫口傳

傳曰骨上頭
鉢エ當タル時
ハ油ヲ禁故ニ
口ヲサアルニ
可也



一 疵ヲ縫仕舞テモ心得事有縫目ニ血止り後ニ
流出ル事無テ疵下之方ヲ一針モ二針モ糸ヲ
不縫ニテ置ヘシ然則スチカイ疵ニテモ横疵ニテ
モ應ニテ切ロノ上チヨリスリ下シテ血ノ止リヲ
流シ取テ糸ヲ結双方之結目ヲ見クハリエカニ
々ニオル様ニ縫合スヘシ次ニ深チニテメイチヤ可
指疵アリ其時疵ノ深ニト思ハシキ取ノ縫目ヨ
リ一針モ二針モ下テメイチヤヲ作り下ヨリ上之

方ヘオスヘシ又メイチヤ指テモ不指疵ニテモ椰子
ノ油ヲ温メ疵口ニ不入様ニ疵ノ左右廻リニ引又玉
子ノ黄白共ニコシタ々キ煉合木綿ノ切ヲ疵ノ大小
ニ隨イ積テ蓋ヲ拵ヘ右ノ玉子ノ黄白ニ浸シ取上
ケ能キ加減ニ指ニテスコキ疵口ニ二三重モシイ其
上ニ木綿ニ采ノ酢ヲヒタシ取上ケシホリニ及ホト
蓋ヲ置其上ヲ木綿ニテ可巻巻様逆ニ無キ様
ニ往來巻事口傳如此毎日菜ヲ付替ヘシ乍去酢

ノ蓋ハ初日許ソ其後疵之愈様ヲ見改テ糸
ヲ一針宛間ヲヲキテ可切疵ニヨリ淺疵ナレハ二
日或ハ三日ニテモ可切深疵ナレハ五日七日ニテモ切ル
事アリ糸ヌキ様ハ今日切り置明日可拔糸ヲヌ
キタル跡ニ木綿ノカラホツシヲ疵ロ一盃付愈膏
茶ヲ打ナリ

一 頭面之疵之事先頭疵ナレハ内ノ腦ニ當リタルカ
能心ヲ可付腦ニ刀目入ハ必死スル物ソ疵之仕掛

ハ同前乍去頂ヲ切ワリタル疵ハ骨所ニテ肉ヌクナ
ク愈ルト云凡疵口之骨キワニテ肉ノリカスル故其時
骨コソケニテ疵ロノ骨カトヲ両方ナカラ不痛様ニ手
呂ニテコソケ取テ肉ノ行合様ニスヘシ必肉両方ヨリ
掛ル也扱頬オキヲ切或ハ鼻ヲ切ワリ或ハ口ヲ切
又ハ鬢ヲ切ハツリタル疵其品多シ惣ニテ面之疵
ニハ縫様少宛心得アリ頬オキノ疵ハ縫テ後内ニ
ニクシ入事アルソ其心得ニテ疵口ヲ一分半程両方ヨ

リツニミ上ケ四五分程ヲイテ可縫口之縫様ハソト皮
ヲ一取モ可縫次ニイクテノ縫様ハ先兩方之肉ヲ切
リ能程ニ取合間ツモリ見合ニ可縫鼻ノ縫様モ右
ノ如ク見合ニ押合テ可縫又頭ノ疵ハ愈様ニ心得有
餘リ肉多カ、ラハ肉ノ廻リニ灸ヲシ肉ヲ下押或ハ肉
ナカシヲ掛テモヨシ類ナキ口之疵イクテナトハ病人
自養生肝要ナリ怒高声笑或ハ堅キ物食スル
莫ク深ク可慎ナリ

一 脗^シ疵ハ横ニカキ切或ハスチカイニ或ハ突タレモ有リ
仕掛石同前先焼酒ニテ洗疵口ヲ押合頭ヲアラ
也ス咽ノ高骨ニ目ヲ付テエカマヌ様ニシテ一針縫テ
次々ハ見合可縫咽ハ息之通取故ニ息ハツミツヨシ能
心ヲ付縫様モ氣ヲハル時糸切ナル様ニ分別シテ
可縫ナリ咳嗽ナト類ニアシハ必糸ヲセキ切り飲食
凡ニ虫ル物ヲタト一誤テ糸切凡ニ不苦驚スニテ可
療治突込深ク疵口モ大キニアラハ疵ノ内へオクリヲ

入考メイチヤシ可指菟角脗疵ハ手肩ノ居スニ
イ身ノ持ヤウ肝要ナリ頭ヲ不傾様ニヨリカ、ラ
也疵ニカニイ無キ様ニシテラク（ニ）卷様ハ脗ノ左右ニ木
綿ヲタタミスケ卷テスエラク也但呼吸ノサワリ無様
ニ後ニヨセカケ居サセラク也前ニ伏タカル物ヲ何モ
口傳

一 ツカイ或ハ一文字疵之心得肝要ナリ或ハ先肩ノ
ツカイ脗ノツカイ腕ノツカイ腰ノツカイ膝ノツカイ脚
ノツカイ手足指ノツカイ其外品多シ先横一文字
疵ヲ療治之大事ト也リ口傳縫合テモ突合急ナ
ル故重リ強クカケルニヨリ難保心持アリ勿論筋骨
ニテモ切ル時ハ心得肝要ナリ肉筋骨凡ニ切ル時ハ
愈シテモ本ノ身ノ如クニ成事ハ稀也ス千カイ疵立
疵ハ次ナリ扱ツカイハ屈ノテラク（ニ）皮筋毛縮ミナカラ
愈シハ屈伸成難シ菟角スク成取ハ愈テ後スクニ
成ニカレ取ハ愈テ後モ屈伸自由ナル様ニト心得

ツカイツカイヲ能考テ取合縫テ木綿ニテ疵之
エカニナルヤウニ巻ヘシ扱添木ヲシテ疵ノ合口不違
様ニスヘシ或ハ巻木綿モ疵ノ所ニテ心得有ヘシ陷ナ
ル取ハスカタマヤウニ木綿ヲ置ツカイ木綿ト云是ヲ
能シキ添木ニ寸ヲ見クリ縫タトハ手ツフリ足ヲ
歩行シ身ヲ動ル疵ロノ筋差ヌヤウニ取合縫事
第一ナリ又指ヲ切落シ腕ヲ切フトシ血不止事ア
リ其時ハ燒カ子ノ心得可有ナリ又肩ツカイカ大

ケナニ切タル疵ニハ脇ニ枕ツカイ肩ナキ下ヘナ名ナ
ルヤウニ木綿ニテツナツシテ腕ト頸トニ掛ナセ置クヘ
シ堀天井ナトニツリ付テモ不苦口傳

一 腹ヲ切テ腸虫ハ先風ノアタラナル様ニ早ク衣ヲカケ風
ヲ防ヘシ風アタシハ腸必フクニ々物ナリ扱仕掛ハ先ツ
燒酒ヲ以テ血タニリノ無様ニヨク可洗燒酒ノカシヌル
ケシハ腸心アシク腸ヲ内ニ入ルニ手ニトフ心持アル故ニ
燒酒ノカシヲアツクシテ洗ヘハ腸シカトシテ心有テ

入ヨキ物ヲ入ル時ハ臟腑ノ有ル所ヲ能合点ニテ枕
高クナラズニスワオカリニ寢セテ腸ノモチシオレヤウニ
左ノ手ニテ腸ノ根本出ル所ヲ定トリ右ノ手ニテ腸ノ
キノオハキヲシテ順ニ可入口傳其時手肩ト醫トノ
息ヲ可定呼吸ノ息合ヲ不知ニテ腸ヲ入ルニ因テ腸
入り兼テ医モ心ヲ乱ス物ヲ如此心ヲ能ク付手肩
ノ息合ヲ考ヘワロタト自然ノ理ニテ可入ヒク息ニハリ
ミツル時ハ手ヲヒカエ息ニ付テ入レハ何ノ子細モナク

入物ヲ縫撮ハ五寸六寸ノ疵ナラハ未腸入ヲオメオレ前
ニ腸ノ虫タレ上ノ方ノ疵ヲ三分一モ縫ツキ後腸ヲ入ル
ニ指ニテ右ノ如ニ腸ノ有取エツシクニ押入テ腸ノヲチツ
クヤウニ揉ミ合扱テ疵ノ深取ヨリ初テ順ニ可縫次
ニ腸入テ後一日二日モ腹中甚痛事アリ或ハ吐逆
シ或ハフルイ或ハ眩暈ナト有リ不可驚必有物ナ
リ若腸ニ少ニテモ疵付ハ死スル也扱木綿ニテエルク
モナク強クモナク能加減ニ可卷背ノ陷ミナトハ見

合カイ木綿ヲシテ卷タルニナキ様ニスヘシ座ニテ
居タルヲ卷ハ卧ノエルム也氣ハツムト伸ルト心得也
又ハ手肩ニ枕ヲ早クオスル夏ヲ嫌フ必血乱シ異ナ
ル病証出ル物ナリ其上手肩腕ノ疵不愈中ニアラ
ノキニ寢スルハ疵ノ血水臙ニ落入必痛ヲ生スル物ソ
去程ニ腕疵ハ愈ルニテ惡血膿水下ヘ流ル様ニ身
持ツオ也枕高ク下オガリニ寢オセラケハ惡水流
捨テ後ノ禍ナシ能ク可心得物ナリ私ニ云腸不入

時横ニ切口傳アリ

一 鎖疵矢疵鉄炮疵何モ燒酒ヲ以水突ニテ洗イ血々
ニリヲ流シ去リ次ニナイチヤニテシ王子ヲ付オスヘシ
假令ハ裏表へ抜タル疵ナラハ両方ヨリナイチヤヲ中間
一寸程ヲキオシ合スヘシ口傳扱愈ルニ隨テナイチヤ
ヲ短カムヘシ又鉄炮疵玉籠リ皮ト肉ノ間ニ近ク有
テハ玉ノ通ノ上ヲ十文字ニ切破リ取出スヘシ肉ニアル
玉ハ疵愈ルニ隨テ内ヨリハリオス事モアリ若骨ト

肉トノ間ニ有テ難出玉ナラハ玉ヌキヲ以テ分別シテ拔
ヘシ又矢ノ根矢カラクイ不拔モソシクノ道具ヲ以テ可
拔何モ後ノ仕掛ハ右同前

金春藥次第

- 一 マイチヤ菜ニ卵ノ赤味一ツニテシメテイナ三分一交ヘツ
カウ其俵付ルニ赤味白味ニ交ヘ使ナリ
- 一 椰子之油カロウチノ油カ温メ疵ノ左右ニ付ル但疵
口ニ不入様ニ可塗

- 一 卵一ツツフシカキ交ハ淡立ナリ其淡ヲ去木綿ニ
タシ手ニテスコキ三四重覆イロ傳
- 一 采ノ酢疵ニ卵ヲ付タル上ニ木綿ニ浸シ二重ホト覆但
初日許ナリ口傳
- 一 右ノ上ヲ木綿ニテ卷ナリ卷様前ニ同
- 一 イコクモトコルドアト 一 ハシリコシ 一 カコアラアト
- 一 テヤハルニ

因疵洗菜之次第

一 燒酒此性沸カシタルハ熱也即時ノ疵ヲ洗ニヨシ肉ニ
ラケタルヲ度トス是ハ虛症ノ疵ヲ療スル加減ナリ実
症ノ疵カ若急ナル時ハ生ニテ不苦ナリ其時ハ黒ニ色
ノ疵ナラハ赤ク成シ度トシ赤色ノ疵ナラハ黒ク成ルヲ
度トス疵大虚ナラハ燒酒ヲ沸シ洗微虚ナラハ温
テ可洗又夜半陰分ノ時療治也ハ沸シ洗ナリ温
氣ノ時モ沸ス也其故ハ肉ハ土也夏ハ土寒症ノ故也
一 燒酒無時ハ古酒ニテ可洗使揉ノ次第ハ右燒酒ノ

如シ又腹疵突疵ニ酒惡シ此時ハ燒酒ナリ若燒
酒無時湯ニテ洗熱氣出ルヲ度トス是モ熱湯温
湯水三段ノ使揉ハ右燒酒ノ如シ

一 頭疵手足ノ指ナラハ上氣專有物ナリ此時ハ花ノ水
ニテ洗ナリ若花ノ水無時ハ茨ノ花陰干ヲ煎シ燒酒
ヲ少加テ用白百合引ナトモヨシ何モ可考口傳
多シ

同縫針之寸法

- 一 肉深キ取之針ハ 長サ三寸二分 口傳
 - 一 肉中分之取針ハ 二寸三分
 - 一 肉薄キ処ノ針ハ 一寸九分
 - 一 肉ナキ取針ハ 一寸六分
 - 一 脗ノ疵之針ハ 一寸三分 但長刀針
- 右何モ切針直針也

同系之事

- 一 麻之系 二口三口又ハ四口 口傳

- 一 小疵淺疵ニ人油ヲ引也
- 一 大疵深疵ニ蠟ヲ引
- 一 突疵ニ其終使ナリ

打身療治

一 打身クロニ有ニ寒菜ヲ用テヨシ赤ク腫ハ燒酒ヲ洗温菜ヲ用テヨシ析キニ熱ノ油ニスリウカシ引伸ニ押屈ニシテ温ノイニハラストヲ木綿ニ伸付卷事常ノ如シツカイナラハ好キ加減ニニケテ置ナリ

口傳折れ取ハ燒酒ニテ洗血タリヲ見能洗イ
退骨折レモカケタル許ヲ取出シ除ガケサルツタイテ
有ラ其終置ナリ即時ナラハ縫テメイチヤニテ可
療治疵心得ナリ又程ヘタル打疵ナラハ腫物同
前洗菜ノ段ニ右同シ又木石何ニテモ打破リタル
疵ハ燒酒ニテ洗突疵ノ如クナリ其後三日程過テ
死肉有ハ切取ヘシ初ニ切ハ惡シ横ニ打破ルハ肉淺
キ取ラハ縫肉深キ所ナラハメイチヤニテ可療治

惣ニテ打身ヲ即時ニ冷シテ後温ルハ惡シ温メ
テ後冷スハ法ナリ若自誤テ冷タルハ考テ温菜
ヲ可付物ナリ

燒跡之療治

一 燒跡即時之療治ナラハ温クイニクエントヲ厚キ紙
ヲ和カニ揉ミ伸付ル也後日ノ療治ナラハ寒クイニ
クエントヲ木綿ニ伸付ルナリ火フクシ有ラ破ルハ惡シ
自破ルヲ待テ其時毛引ニテ皮ヲハサニ取也墮

分ハオ三肉ヲ見テ穴アラハマイチヤヲ指ナリ古キ綿ヲ
取テ上下左右ヨリ押シホリヌクイ取ナリ又湯火ニ即
時ノ療治ナラハ熱湯ニテ洗温ノイニクエトヲ如右付
ナリ後日ナラハ寒水ニテ洗寒ノイニクエトヲ付ヨ熱寒
温冷茶ノ前後付ヤウ右同前ナリ

イニクエトハシリコニ 温

- 一 榧之油 三十目
- アセトウナノ油 三十目
- 麻之油 二十目
- 雞之油 女 五糸
- 牛ノ油 五糸
- 椰子ノ油 二糸

右六味ノ油ニハシリコ草ノ陰干末シテ六拾目入煎ニ加
減ヲ見テヘツキ百目松脂廿目蠟此三味ヲ右ノ油ニ入
煮解シ布ニテ濾シ器ニ入子ヲシ置使ナリ功能一切
ノ腫物ニ用テヨシ口傳アリ疵打身色ニヨシ又イ六
ラストニ煉採口傳

イニクエトアホストロウニニ 温

- 一 赤松脂 三糸
- 牛ノ油 三糸
- 榧ノ油 一合
- 右三味煎黃蠟ヲ入加減ヲ見布ニテヨシ其後鍋ニ入

火ヲヌルクシ枯菴ニ各丹菴一各青キヒイトロ粉ニ
各緑青ノ粉ニ各何モ入柳木スリ木ニテ堅ニリ無
様ニ能研リ交其後鍋ヲロシ菜ヲ研入ナルホトコナシ
器ニ入三七日程子ヲシテ使功能一切之腫物ロソ破
リ悪肉ヲ切悪水ヲ吸底毒ヲ浮スニヨシ又メイネヤ
ニモヨシ口傳

イシクエシトエシトロス

熟

一 椰子油三十目脛内油三十目ニエシテイナ三十目アセ

トソナ九十目

右四味ノ油ヲ鉢ニ入赤松脂之粉ニ

十月五シトロス葉莖凡三十目小葵三十目コトトロノ
葉莖凡三十目青木葉十各

右五味ヲ入五七日日ニホシ口傳其後鍋ニ入火ヲヌルクシ
テ水氣無キ様ニ煎シ口傳布ニ包シメヨシテ其後ニ夕
鍋ニ入火ヲヌルクシテ右ノ研リ木ニテスリ交蠟ヲ加減ヨ
ク煉ナリ能筋骨或ハ手足痿ルニヨシ又クシキヲシ打身
其外腫物ノ肉ウツキ虫ルカ又ハツカイ々ニ出タルニ付メ

イチヤニ用テヨシ突疵打破リ焼跡ニヨシ口傳

イニクエニトサリリ 温

一 エシニクエニトサリ 三十日 アセトウナ 同 椰子油 十斤

牛油 五斤 雞ノ油女 二斤 右ノ五味ノ油ノ煎

一 乳香 三十日 玉乳香 同 阿仙菜 廿日 麒麟血

三十日 赤松脂

右五味末ニテ右ノ油ニ入交一タキラカシメヨシ枯荅十斤ホ
ト入ル也一切ノ腫物^膿吸肉上ケニヨシ身色ニ出ル腫物ニ付

症ヲ見テ療ス又突疵ノ洗菜ニ用ニヨシ風毒便毒
諸ノハ大ノ類ニ良シ

イニクエニトカシラアト

一 アセトウナ 一合 白蠟 十斤 ナマリ焼 二斤

右三味煎一沸シテ布ニテケシ又鍋ニ入火ヲスルクシ其後

唐土ヲ入冷ニテ交煉ル也一切之腫物愈ル時分用ル

ナリ又疵ニ用口傳打身焼跡何モ口傳

イニクエニトコルタアト 熱

一 アセトウナ 一介 椰子油 二十目 雞ノ油 拾目

牛ノ油 拾目 己上四味ノ油ヲ煎

一 赤松脂 一介 黄蠟 一介

右ニ味石ノ油ニ入テク交一沸シテ布ニテコシ器ニ入十日程
過キ使フナリ疵品ニ口傳一切ノ腫物不浮ニ付テ浮ク
ナリ或ハ肉上リ無ルニ付テ肉上ルナリ又ハ折身折クシ
キニシ惣シテ虚症ノ腫物ニヨシ口傳又此膏イハラ
ストニ煉ニ口傳

イニクエニトテヤホニホリコホ 寒

一 アセトウナ 罌目 イハラノ花 拾目 十二リ 燒十々 後ニ入 蠟 見合

煉搦口傳カシテアト同前一切之腫物ノ皮ヲ生ス

イニクエニトロフトウリウ

一 白カシ木皮共ニ黒燒 半介 白灰 半介 フトウ葛 黒燒 半介

右雞一羽ノ肉ヲ切テ水ニ入七八日置肉アサルキニ成
時漚シ糟ヲ去リ煉ツメ右ノ三味ヲ入煉リ堅ノ風引ガ
ルヤウニ入置テ使フ也風入ハ乾キ性惡ニ一切ノ不浮腫

物ヲ浮シ不流惡肉ヲ切り手足痿凡ハ熱ノ油ニ
テ解キ付温核ニ付ヨシ

イニクエトトエケフチヤコ 寒

一 緑音 三十目 枯荖 十目 丹礬 燒ニル 蜂蜜 百目

泉酢 五十目 石酢ヲ煎シツメ淡立香無キ時蠟ト

蜜ヲ入解ケタレ時ニアセトウナ拾目入加減見合漆ノ

虚實凡ニ多腐リ痛ニ付ハ惡肉切膿吸クサリヲ

止痛ヲ止ルナリ

イニクエトフラダサルフ 微寒

一 黄栢 拾各 樟腦 五各 丹 五十目 輕粉 一各

王子ノ油 五各 椰子油 拾各 桐油 又アラセノ油 榧油 此
三色何ニテモ拾各

クチ木ノ油 右三味ノ油煎菜味ヲ入蠟ニテ加減ヲ見ル

丹ハ後色赤クナズ時ニヨシ第一燒跡ニヨシ下ニ温性ノ

油ヲ付其上ニ付ル實ニテ痛ニヨシ瘰癧ニヨシ

イニハラストシヨヨシ 温

一 元ノミイナ 三十目 没薬 拾各 赤松脂 六拾各 乳香

拾分 大黃 五分 石五味ヲ入ヘツキヲ入蠟ヲ入能加減

ニ煉ル也功能骨痛ニヨシ冷テ筋痛脚氣ニヨシ中風ニハ
野菊花ノ油乙切草油温ノ下ニ塗其上ニ伸付ルナリ

イニハラストカラサニイマ

一 エシメテイナ 三十目 野牛ノ油 百目 脛ノ油ニシテモ 右ニ味ヲ煎

赤松脂 百目 乳香 五十目

右ニ味ヲ入煮トカシ蠟ヲ入ヨキ加減ニ交錯シ下ノ緑青セ分
入オニ能クコナスナリ一切腫物古疵愈無虚症ニ成惡

膿ツカヘテ痛ニ付テヨシ筋脚氣吉打身コモツテ底痛

イニハラストテヤハルニ 寒

一 アセトウナ 代榧油カ生シメカ 三合 脛油 一合

右ニ味煎シ

一 蜜陀僧 百目 枯荖 拾目 丹荖 燒一分 唐土 五十目

右四味ヲ入煉リヨキ加減ニ蠟ヲ入煉也一切之腫物愈キ
ワニ用テヨシ實之腫物押散ニヨシ虚症腫ニ可有斟酌

イニハラストテヤキロニ 微温

一 シフリヨカモメイリ 三十目 元シシイナ 五糸

右二味ヲ煎 蜜陀僧 四糸 赤松脂 六糸

右二味末ノ入煉合麻仁ノ末四糸入蠟ニテ加減シ滌ス虚ニ
テ底ニテ痛ニヨシ沈タル腫物ヲ浮シ癰沈ム時ハシリコ
ヲ加付テヨシ痰塊ニヨシ疵ニヨシ口傳多シ

イニハラストムスラケニフス 熱

一 丁子油 亦目 白百合油 同 麻仁油 同 元シシ 拾糸

以上四味煎

一 桃ノ木脂 拾糸 胡芦芭 ^{イニ} 三十目 イニト實 同 八カス目

一 ツキ 亦目 右四味ヲ入煮トカシ蠟ヲ入ヨキ加減ニ煉

紅花ヲ末拾糸入煉上ル一切之腫物浮スニヨシ筋脚氣
手足筋伸スニヨシ沈腫底ニテ強ク痛痰塊骨ツキ丹
毒胎毒ニヨシ抄身クシキ折タルニヨシ付ル品ニ口傳

イニハラストメリロウト 温

一 毛千フツノ花 陰干四拾目 野菊花 同 三糸 茴香花 同 三糸

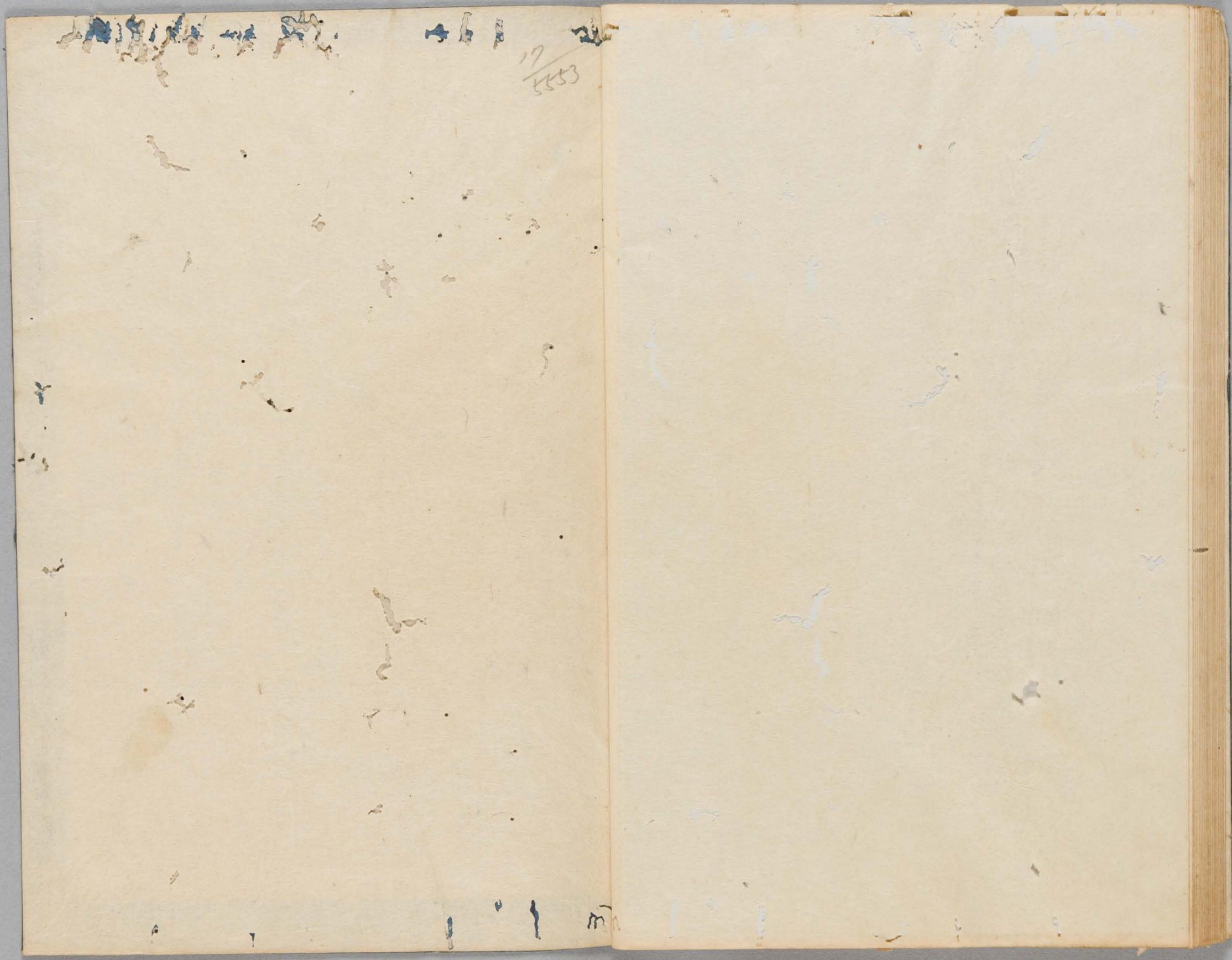
タフノ實 三糸 小葵ノ根 煎 三糸 宿砂 三糸 小麻仁 二糸

木没菜 十目 元シメシ 十各 ヤキノ油 十各 へツキ 十各
ウコシ 五各 フドウ葛 煎タニリ 拾各 人油 五各
右煉採 オフラシ 胡麻仁 宿砂 葵ノ根 又煎出シ 糟ヲ去
脂トフトウノ汁ト人油 木没菜 タノ實 三味 花末 十味
入煉蠟 又ヨキ 加減ニ上ル也 一切之腫物 之ラシ 骨ヲツ
キ筋ヲ伸和ナリ 何ノ腫物ニモ用 風ニ逢時 野菊ノ油
ニテ解付口傳アリ

イニハラストシメカラヤシ

微寒

一 梔ノ油 四拾目 唐土 五各 仙人草末 五各
右三味煎丹 又七目 一沸メ 酢見合入 交サニス 一切之
腫物 腐ヲ止 打身ニ用 八時 木綿ニ伸付ナリ



17
5553

